



コロナ禍による環境の変化 ～新たな趣味～

公益社団法人日本防犯設備協会 理事
アイホン株式会社 執行役員 国内営業本部長 吉澤 誠



2020年1月に日本国内での新型コロナ感染者の報道がされてから約1年半が過ぎました。2021年5月時点で、全世界における感染者数は1億6千万人を越え、まだ増え続けている状況であり、改めてウイルス感染の怖さを思い知らされています。

コロナ禍で、世間の常識や環境が大きく変化した事によって、各企業においても働き方改革への取り組みが加速しました。私が勤務している会社でも在宅勤務の励行、出社人数の制限、時差出勤等、今まで取り入れていなかった勤務・業務形態が定着してきています。

コロナ禍による変化は、勤務形態だけではなく、生活環境も大きく変わりました。今回は、コロナ禍で変化した生活環境の中で、新たに生じた楽しみ(趣味)について紹介させていただこうと思います。

私は愛知県の小牧市に自宅を構えていますが、新型コロナ以前までは、仕事で全国へ出張も多く、週末自宅でゆっくり過ごす時間も多かったです。

また東京、大阪への転勤経験もあり、延べ10年間単身赴任生活をしていた事もあり、小牧市に住み始めてからも半分以上の時間は別の地で生活していた事になります。

そのような中、新型コロナにより会社の規定で出張が原則禁止になり、毎週末自宅過ごす事になりました。また2020年4月からは在宅勤務も推進され、私も週の数日を自宅で仕事をする事になりました。普段は会社までの通勤に約50分掛けていますが、在宅勤務の日は、その通勤時間帯を運動不足解消も兼ねてウォーキングの時間に充てるようにしました。

帰社の時間帯も同様にウォーキングの時間に充てました。普段は自宅から最寄り駅までの決まったルートを往復しているだけであり、また週末は近所であっても車を利用する事が多く、自宅の周辺をゆっくり歩く機会は殆どありませんでした。ウォーキングは目的地を決め歩く訳ではなく、歩く時間を決めているだけなので、その日の気分によって歩くルートはバラバラです。

春という良い季節であったこともあり、ウォーキングをしてみると普段はあまり気が付かなかった植物や、花が目がいくようになりました。

花に注目しながらウォーキングをしていると近所でも奇麗にガーデニングをしているところも多く、興味深くなってきました。私の妻は昔から花が好きで、花を買って花瓶に活けたり、プランターに植えたりしていましたが私は全く関心が無く、あくまでも妻の趣味の一つというだけでした。

早速、週末に妻と一緒に花屋やホームセンターへ行き、数種類の花を購入し、家で土いじりを始めました。購入した殆どが咲く前の苗の状態であり、奇麗に咲いた時の事をイメージしながら、どのプランターに植えようか?どの花と組み合わせようか?とあれこれ考えると楽しみが増えます。それから朝の水やりが私の日課となりました。以前までは出勤前は時間に追われながら家を出ていましたが、今では日々の花の成長過程を見る事ができ、水やりが楽しみの一つとなりました。自分が世話をしている植物が徐々に大きくなり、花を咲かせた時には充実感も湧いてきます。植物の緑や、奇麗な花を眺めているだけで、気持ちが和らぎ、ストレス解消にもなっています。

春夏秋冬、それぞれの季節に咲く花があり、ガーデニングは一年中楽しむ事ができます。週末に玄関先や庭先で土いじりをする時間が増えてくると、ご近所の方から花や苗のお裾分けや、プランターごと頂ける機会もあり、ガーデニングを通して、ご近所の方とコミュニケーションを取る機会も増えてきました。

今も週末にウォーキングをすることがありますが、ガーデニングをやり出してから、近所で珍しい植物や花を見ると興味が湧き、その植物・花の情報が知りたくなってきました。私は知らなかったのですが妻から知りたい植物や花をスマホで撮影すると瞬時に教えてくれるアプリがあることを教えてもらい今はそのアプリを活用しています。



玄関先のガーデニング

自宅の近くには「ハナミズキ通り」と呼ばれている通りがあり、白やピンクのハナミズキが数多く咲いており、その美しさに心が癒されました。実は私の自宅にもハナミズキが植栽されているのですが、毎年花付きも悪いにも関わらず、あまり関心も持たず何か手を加える訳でもなく年数が経過していました。昨年の春も同様に花付きが少ない状態でした。そのハナミズキに対しても、翌年に向け秋に花芽に注意しながら剪定を行ない、日当たりが良くなるように周辺の木も剪定し秋から冬にかけて肥料も与えました。初めての試みです。その甲斐があってか今年の春には例年以上に花が咲き、少し手を加えただけですがその想いにハナミズキが応えてくれたのかなとうれしく思えました。



自宅のハナミズキ

ガーデニングを本格的に始めてから約1年が経ちましたが、昨年庭先に植えた芝桜が今年も咲いてくれました。この1年、世の中は新型コロナで仕事や生活にいろいろな制限が掛かり窮屈な日々を過ごしている事もあり、心に余裕が無くなり、ストレスを感じる場所もありましたが、1年間後に再び花を咲かせた芝桜を見ると、心が癒され元気をもらいました。私自身もネガティブ思考にならないよう、前を向いていきたいと思っています。

ようやくワクチン接種も始まりました。1日も早い新型コロナ流行の収束を願い、またコロナ禍によって見つけた趣味をこれからも続けていきたいと思っています。